

2019年3月期 第1四半期決算短信[IFRS] (連結)

2018年7月31日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東

コード番号 7296 URL http://www.fcc-net.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松田 年真

問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業管理統括 (氏名) 松本 隆次郎 TEL 053-523-2400

四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無:無 四半期決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収	又益	営業利	利益	税引前	利益	四半期	利益	親会社 所有者に帰 四半期	帰属する	四半期包	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	44, 510	8. 9	4, 774	58. 9	4, 935	47. 2	3, 288	42. 7	3, 258	43. 5	3, 432	66. 9
2018年3月期第1四半期	40, 878	5. 2	3, 004	△17.3	3, 352	153. 9	2, 305	133. 3	2, 270	173. 9	2, 056	-

	基本的 1 株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	64. 93	-
2018年3月期第1四半期	45. 24	_

(2)連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1 株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	171, 606	121, 146	119, 609	69. 7	2, 383. 22
2018年3月期	170, 302	118, 900	117, 311	68. 9	2, 337. 43

2. 配当の状況

	年間配当金								
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭				
2018年3月期	_	21.00	_	21. 00	42. 00				
2019年3月期	_								
2019年3月期(予想)		23. 00	_	23. 00	46. 00				

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収	又益	営業和	利益	税引前	利益	当期和	利益	親会神 所有者に帰 当期和	帚属する	基本的 1 株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86, 000	5. 0	6, 200	△6.9	6, 500	△11.9	4, 700	△3.1	4, 600	△3.1	91. 66
通期	175, 000	1. 1	14, 500	3. 2	14, 800	5. 1	10, 600	6.8	10, 400	7. 3	207. 22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更:有② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 2019年3月期1Q 52,644,

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	52, 644, 030株	2018年3月期	52, 644, 030株
2019年3月期1Q	2, 455, 889株	2018年3月期	2, 455, 841株
2019年3月期1Q	50, 188, 144株	2018年3月期1Q	50, 188, 221株

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1)要約四半期連結財政状態計算書	4
(2)要約四半期連結損益計算書	6
(3)要約四半期連結包括利益計算書	7
(4)要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6)要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、 米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は44,510百万円(前年 同期比8.9%増)となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり4,774百万円(前年 同期比58.9%増)となりました。税引前四半期利益は4,935百万円(前年同期比47.2%増)、親会社の所有者に帰 属する四半期利益は3,258百万円(前年同期比43.5%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(二輪車用クラッチ)

インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は20,924百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は2,575百万円(前年同期比13.1%増)となりました。

(四輪車用クラッチ)

米国においてフォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国のホンダ向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は23,586百万円(前年同期比9.6%増)となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり2,198百万円(前年同期比202.5%増)となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

(日本)

二輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は6,254百万円(前年同期比3.4%増)となりました。 営業利益は、原価低減等の効果もあり539百万円(前年同期比174.5%増)となりました。

(米国)

フォードやGM向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は16,379百万円(前年同期比10.9%増)となりました。営業利益は、増収に伴う利益の増加や原価低減等の効果もあり1,512百万円(前年同期比452.1%増)となりました。

(アジア)

インドやインドネシアの二輪車用クラッチの販売が増加したことに加え、中国のホンダ向けの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は20,369百万円(前年同期比6.5%増)、営業利益は2,360百万円(前年同期比9.1%増)となりました。

(その他)

メキシコの四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は1,507百万円(前年同期比61.4%増)となりました。営業利益は、メキシコの収益性改善等もあり32百万円(前年同期は72百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は77,748百万円となり、前連結会計年度末に比べ855百万円増加しました。これは主にその他の金融資産が963百万円、営業債権及びその他の債権が794百万円減少したものの、現金及び現金同等物が1,475百万円、棚卸資産が940百万円増加したことによるものであります。

(非流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の非流動資産は93,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ447百万円増加しました。これは主にその他の金融資産が714百万円減少したものの、有形固定資産が1,063百万円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は39,850百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,292百万円減少しました。これは主に未払法人所得税が459百万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が2,103百万円減少したことによるものであります。

(非流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の非流動負債は10,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ351百万円増加しました。これは主に借入金が138百万円減少したものの、繰延税金負債が428百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第1四半期連結会計期間末の資本は121,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,245百万円増加しました。これは主に利益剰余金が2,192百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は26,706百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,542百万円となりました。これは主に税引前四半期利益4,935百万円、減価償却費及び償却費2,894百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2,768百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3,464百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,398百万円となりました。これは主に配当金の支払額1,038百万円、短期借入金の純増減額231百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年4月27日の「平成30年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	25, 230	26, 706
営業債権及びその他の債権	28, 855	28, 060
その他の金融資産	2, 339	1, 375
棚卸資産	18, 428	19, 368
その他の流動資産	2, 038	2, 236
流動資産合計	76, 892	77, 748
非流動資産		
有形固定資産	72, 942	74, 006
のれん及び無形資産	4, 396	4, 521
持分法で会計処理されている投資	117	107
その他の金融資産	12, 561	11,846
繰延税金資産	2,734	2,742
その他の非流動資産	657	634
非流動資産合計	93, 410	93, 858
資産合計	170, 302	171,606

		(単位:日ガ円)
	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	16, 044	13, 941
借入金	16, 179	16, 394
その他の金融負債	128	135
未払法人所得税	2, 784	3, 243
その他の流動負債	6, 006	6, 135
流動負債合計	41, 143	39, 850
非流動負債		
借入金	365	226
その他の金融負債	448	576
退職給付に係る負債	2, 027	1, 961
引当金	33	33
繰延税金負債	7, 086	7, 514
その他の非流動負債	297	298
非流動負債合計	10, 258	10, 609
負債合計	51, 402	50, 460
資本		
資本金	4, 175	4, 175
利益剰余金	112, 828	115, 021
自己株式	$\triangle 3,409$	△3, 409
その他の資本の構成要素	3, 716	3, 821
親会社の所有者に帰属する持分合計	117, 311	119, 609
非支配持分	1,589	1, 536
資本合計	118, 900	121, 146
負債及び資本合計	170, 302	171, 606

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上収益	40, 878	44, 510
売上原価	∆34, 538	△36, 065
売上総利益	6, 340	8, 445
販売費及び一般管理費	$\triangle 3,499$	△3, 881
その他の収益	196	296
その他の費用	△32	△85
営業利益	3,004	4, 774
金融収益	390	311
金融費用	$\triangle 40$	△141
持分法による投資損益	$\triangle 2$	$\triangle 9$
税引前四半期利益	3, 352	4, 935
法人所得税費用	$\triangle 1,047$	△1,646
四半期利益	2, 305	3, 288
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2, 270	3, 258
非支配持分	34	30
四半期利益	2, 305	3, 288
1 株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益(円)	45. 24	64. 93
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	_	_

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期利益	2, 305	3, 288
その他の包括利益 純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	$\triangle 0$	$\triangle 7$
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融資産の公正価値の変動	_	△411
計	$\triangle 0$	△419
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産の公正価値の変動	△237	_
在外営業活動体の換算差額	△5	561
持分法適用会社におけるその他の包括利 益に対する持分	△5	1
計 _	△248	562
その他の包括利益合計	△248	143
四半期包括利益	2,056	3, 432
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,033	3, 389
非支配持分	23	43
四半期包括利益	2, 056	3, 432

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

		親会社の	の所有者に帰属す	でる持分					
				その他の資本の構成要素					
	資本金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体 の換算差額	売却可能金融資 産の公正価値の 変動				
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円				
2017年4月1日時点の残高	4, 175	104, 908	$\triangle 3,409$	1, 792	4, 156				
会計方針の変更	_	_	_	_	_				
修正再表示後の残高	_	_	_	_	_				
四半期利益	_	2, 270	_	_	_				
その他の包括利益	_	_	_	$\triangle 4$	$\triangle 233$				
四半期包括利益合計		2, 270	_	$\triangle 4$	△233				
自己株式の取得	_	_	_	_	_				
配当金	_	△1,003	_	_	_				
持分変動に伴う増減額	_	_	_	_	_				
その他の資本の構成要素 からの振替	_	$\triangle 0$	-	_	_				
所有者との取引額合計		△1,004							
2017年6月30日時点の残高	4, 175	106, 175	△3, 409	1,788	3, 923				
	親会社の所有者に帰属する持分								
	その他の	その他の資本の構成要素							
		定給付制 の再測定		非支配持分	分 資本合計				

	——————————————————————————————————————					
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産の公正 価値の変動	確定給付制 度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年4月1日時点の残高	_	_	5, 949	111,624	1,530	113, 155
会計方針の変更	_	_	_	_	_	_
修正再表示後の残高	_	_	_	_	_	_
四半期利益	_	_	_	2, 270	34	2, 305
その他の包括利益	_	$\triangle 0$	$\triangle 237$	$\triangle 237$	$\triangle 10$	△248
四半期包括利益合計	_	$\triangle 0$	△237	2,033	23	2,056
自己株式の取得	_	_	_	_	_	_
配当金	_	_	_	△1,003	$\triangle 0$	$\triangle 1,004$
持分変動に伴う増減額	_	_	_	_	_	_
その他の資本の構成要素 からの振替	_	0	0	_	_	_
所有者との取引額合計		0	0	△1,003	△0	△1,004
2017年6月30日時点の残高			5, 711	112, 653	1, 553	114, 207

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

				その他の資本の構成要素		
	資本金	利益剰余金	自己株式	在外営業活動体 の換算差額	売却可能金融資 産の公正価値の 変動	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2018年4月1日時点の残高	4, 175	112, 828	△3, 409	△1, 156	4,872	
会計方針の変更	_	$\triangle 37$	_	_	$\triangle 4,872$	
修正再表示後の残高	4, 175	112, 791	$\triangle 3,409$	△1, 156	_	
四半期利益	_	3, 258	_	_	_	
その他の包括利益	_	_	_	543	_	
四半期包括利益合計	_	3, 258	_	543	_	
自己株式の取得	_	_	$\triangle 0$	_	_	
配当金	_	$\triangle 1,053$	_	_	_	
持分変動に伴う増減額	_	_	_	_	_	
その他の資本の構成要素 からの振替	_	25	_	_	_	
所有者との取引額合計	_	△1, 028	△0			
2018年6月30日時点の残高	4, 175	115, 021	△3, 409	△612		

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素					
	その他の包括利 益を通じて公正 価値で測定する 金融資産の公正 価値の変動	確定給付制 度の再測定	습計	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2018年4月1日時点の残高	_	_	3, 716	117, 311	1,589	118, 900
会計方針の変更	4,872	_	_	$\triangle 37$	_	$\triangle 37$
修正再表示後の残高	4,872	_	3, 716	117,274	1, 589	118, 863
四半期利益	_	_	_	3, 258	30	3, 288
その他の包括利益	$\triangle 405$	$\triangle 7$	130	130	12	143
四半期包括利益合計	△405	△7	130	3, 389	43	3, 432
自己株式の取得	_	_	_	$\triangle 0$	_	$\triangle 0$
配当金	_	_	_	$\triangle 1,053$	$\triangle 96$	$\triangle 1, 150$
持分変動に伴う増減額	_	_	_	_	_	_
その他の資本の構成要素 からの振替	△32	7	△25	_	_	_
所有者との取引額合計	△32	7	△25	△1,054	△96	△1, 150
2018年6月30日時点の残高	4, 434		3, 821	119, 609	1, 536	121, 146

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:日万円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3, 352	4, 935
減価償却費及び償却費	3, 271	2, 894
金融収益及び金融費用	△159	△159
持分法による投資損益(△は益)	2	9
固定資産除売却損益(△は益)	2	54
棚卸資産の増減額(△は増加)	$\triangle 447$	$\triangle 1,204$
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	1, 146	999
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	1,677	$\triangle 1,460$
退職給付に係る負債の増減(△は減少)	39	△72
その他	△967	368
小計	7, 918	6, 364
利息及び配当金の受取額	182	190
利息の支払額	$\triangle 61$	$\triangle 69$
法人所得税の支払額	△785	△943
営業活動によるキャッシュ・フロー	7, 254	5, 542
投資活動によるキャッシュ・フロー	,	,
定期預金の預入による支出	$\triangle 2,052$	△200
定期預金の払戻による収入	88	1, 172
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 2,884$	$\triangle 3,464$
有形固定資産の売却による収入	68	40
無形資産の取得による支出	$\triangle 260$	△279
無形資産の売却による収入	_	0
貸付けによる支出	$\triangle 33$	$\triangle 56$
貸付金の回収による収入	57	74
投資の取得による支出	$\triangle 14$	△11
その他	$\triangle 1$	$\triangle 44$
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5, 033	$\triangle 2,768$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	810	△231
自己株式の取得による支出	_	$\triangle 0$
配当金の支払額	△985	$\triangle 1,038$
非支配株主への配当金の支払額	$\triangle 0$	△96
その他	△30	$\triangle 32$
財務活動によるキャッシュ・フロー	△207	△1, 398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,013	1, 375
現金及び現金同等物の期首残高	23, 474	25, 230
現金及び現金同等物に係る換算差額	67	100
現金及び現金同等物の四半期末残高	25, 555	26, 706
NAME OF THE PROPERTY OF THE PR		20,100

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。なお、当社グループの連結財務諸表への影響は軽微であります。

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、IFRS第9号「金融商品」、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びATVのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	19, 364	21, 513	40, 878	_	40, 878
セグメント間収益					
合計	19, 364	21, 513	40, 878	_	40, 878
減価償却費及び償却費	△1, 132	$\triangle 2, 138$	$\triangle 3,271$	_	$\triangle 3,271$
その他の損益	△15, 954	△18,648	△34, 602		△34, 602
営業利益	2, 277	726	3,004	_	3, 004
	-				
金融収益					390
金融費用					$\triangle 40$
持分法による投資損益					$\triangle 2$
税引前四半期利益				_	3, 352

当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメント

	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計	調整額	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益					
外部収益	20, 924	23, 586	44, 510	_	44, 510
セグメント間収益	_	_	_	_	_
合計	20, 924	23, 586	44, 510		44, 510
減価償却費及び償却費	△1, 153	$\triangle 1,740$	△2, 894	_	△2, 894
その他の損益	△17, 194	\triangle 19, 646	△36, 841	_	△36, 841
営業利益	2, 575	2, 198	4, 774		4, 774
金融収益					311
金融費用					∆141
持分法による投資損益					∆9
税引前四半期利益				_	4, 935
- 100 2 LUM EN 1 280 LUM				=	1, 000